

わくわく無限大！
個性いろいろ
ともに創る
驚きの未来。

2025年2月期第1四半期決算 (補足説明資料)

2024年7月12日

株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングス
【東証プライム 証券コード3387】

目次

I. 業績ハイライト

1. 業績の概要[IFRS]
2. 業績の概要(カテゴリー別)
3. TOPICS①②

II. 2025年2月期業績予想及び株主還元策

1. 2025年2月期通期業績予想の概要
2. 株主還元策

III. Appendix

1. 出退店及び店舗数について
2. 既存店前年比の推移
3. 2025年2月期通期業績予想の概要(カテゴリー別)
4. サステナビリティへの取り組み①②

I. 業績ハイライト

1. 業績の概要[IFRS]

売上収益383億円、営業利益28億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益19億円、調整後EBITDA71億円

※1: 既存店前年比

	3月	4月	5月	1Q計 (3-5月)
目標	107.8%	105.1%	106.1%	106.4%
実績	108.8%	104.5%	104.9%	106.1%

✓ 売上収益について

- 堅調な外食需要や訪日外国人の増加によるインバウンド需要の回復等により、前期1Qに対して増収（通期予想進捗率25.0%）

✓ 営業利益について

- 前期1Qに発生した人手不足によるチャンスロスを解消すべく、今期1Qは適正な人員配置を行った結果、前期比こそ減益となるも、通期予想進捗率は29.6%と順調に推移

(単位:百万円)	2024年2月期 (1Q)	2025年2月期 (1Q)	対前年 差異
	実績	実績	
売上収益	36,607	38,286	+1,679
営業利益	2,981	2,753	△ 227
税引前利益	2,924	2,584	△ 339
当期利益	2,360	2,046	△ 314
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,150	1,852	△ 298
調整後EBITDA ※2	7,242	7,106	△ 136
実質営業利益※3 (営業利益+減損損失)	3,467	3,351	△ 115

2025年2月期	進捗率
通期予想	
153,000	25.0%
9,300	29.6%
8,700	29.7%
7,000	29.2%
6,100	30.4%
26,200	27.1%
11,300	29.7%

※1: 既存店前年比は、前年の2024年2月期の数値を用いて、且つ休業店舗も含めて算出しています

※2: 調整後EBITDA=営業利益+その他の営業費用-その他の営業収益(協賛金収入を除く)+減価償却費+非経常的費用項目(株式取得に関するアドバイザー費用等)

※3: 実質営業利益は、営業利益から減損損失を除いた数値です

2.業績の概要(カテゴリー別)

- ✓前期から取り組んでいる人的資本投資に基づき、適正な人員配置を実施
- ✓今期1Qは総じて好調(但し、実質賃金マイナスもあり、消費の二極化が進行。今後の動向を注視)

※1:既存店前年比

CRカテゴリー:
都心部の非日常を取り込むレストラン(予約型のファインダイニング系)業態が好調

SFPカテゴリー:
首都圏・都心部を中心に居酒屋需要の回復とともに、インバウンドも好調

専門ブランドカテゴリー:
つけめん・ベーカリー等の日常業態が引き続き好調

海外カテゴリー:
シンガポールは安定、北米ではリベンジ消費の一服感あり

カテゴリー	3月	4月	5月	1Q計 (3-5月)
CR	110.2%	104.2%	103.7%	106.0%
SFP	107.9%	103.9%	105.3%	105.7%
専門ブランド	107.8%	103.9%	102.5%	104.7%
海外	108.7%	108.1%	114.1%	110.9%
連結	108.8%	104.5%	104.9%	106.1%

(単位:百万円)

カテゴリー	2024年2月期1Q			2025年2月期1Q			差異		
	売上収益	カゴリ-CF※2	売上比	売上収益	カゴリ-CF※2	売上比	売上収益	カゴリ-CF※2	売上比
CR	12,739	1,650	13.0%	13,372	1,567	11.7%	+633	△ 83	△1.2%
SFP	7,156	814	11.4%	7,671	863	11.3%	+515	+49	△0.1%
専門ブランド	12,557	1,491	11.9%	12,821	1,495	11.7%	+263	+3	△0.2%
海外	4,720	575	12.2%	5,045	613	12.2%	+325	+38	△0.0%
その他調整等※3	△ 566	2,711	-	△ 624	2,567	-	△ 57	△ 143	-
合計	36,607	7,242	19.8%	38,286	7,106	18.6%	+1,679	△ 136	△1.2%

(注)6/1付のグループ内組織再編(クリエイト・ダイニング社とLG&EW社の合併:4/12付にて別途開示)を加味して、前期1Q及び当期1Q実績ともに、LG&EW社を専門ブランドカテゴリーからCRカテゴリーに組み替えた数値を反映しております

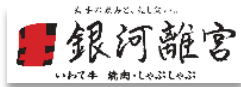
※1:既存店前年比は、前年の2024年2月期の数値を用いて、且つ休業店舗も含めて算出しています
 ※2:カテゴリー-CF=営業利益(日本基準)+減価償却費+協賛金収入+非経常的費用項目
 ※3:その他調整等は、IFRS16号適用に伴う減価償却費のほか、主に各カテゴリーには配分していない本社経費等です

3. TOPICS①～コントラクト事業の強化～

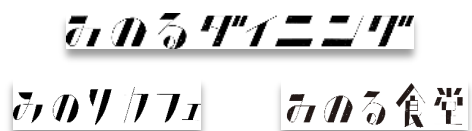
アフターコロナを見据えたポートフォリオの見直し

✓コントラクト(受託運営)事業の強化

- ・KRフードサービス社(KR社)のコントラクト事業をクリエイト・レストランズ社(CR社)に集約(9/1付予定)
(連結子会社間の吸収分割承継)
⇒KR社の持つコントラクト事業における知見・ノウハウ等の専門性をCR社に集約
⇒CR社がもつ全国展開を支える運営体制や商品開発力を活用
- ・JA全農との包括業務提携契約(1/26付)に基づく「みのりみのる」ブランド等の運営受託の一層の加速
⇒当社(持株会社)内に、店舗運営受託及び包括業務提携の推進を統括する「事業開発部」を新設



コントラクト事業の更なる発展へ



焼き肉じゅん 大阪ドームシティ店 (3/29 OPEN)



若葉亭 名古屋駅前店(4/1 OPEN)
若葉亭 豊橋駅東口店(4/3 OPEN)



みのりダイニング 京都ポルタ店 (7/1 OPEN)

3. TOPICS②～グループ内組織再編/DX・人財不足への対応～

グループ連邦経営の更なる進化

✓グループ横断的な組織再編の実行

- ・クリエイト・ダイニング社とLG&EW社を合併(6/1付)
(連結子会社間の吸収合併)
⇒ダイニング事業領域におけるナレッジ集約による専門性の強化
⇒人財の流動化を促進

ダイニング事業の更なる発展へ

DX推進による生産性の向上・人財不足への対応

✓配膳・下膳ロボット(バッシングロボ)の導入

- ・しゃぶしゃぶ食べ放題「しゃぶ菜」や和食レストラン「かごの屋」等において、配膳ロボットを順次導入
⇒店舗従業員のサポートとして積極的に活用

✓モバイルオーダーの拡大

- ・各業態に合わせたモバイルオーダーシステムを導入
⇒店舗人員の効率的な配置やお客様ストレスの緩和に寄与

✓人財の活躍推進

- ・外国人財の採用拡大・フォロー体制の整備
⇒磯丸水産では外国人採用の強化に加え、店長登用も増えるなど活躍の場が拡大
- ・メンター制度(シスター&ブラザー制度)を再開※コロナ禍で一時中断
⇒働きやすい職場作りを目指し、人財サポーター(メンター)が新入社員と定期的に面談
⇒新入社員のフォローだけでなく、人財サポーターも共に成長するプログラム



Ⅱ. 2025年2月期業績予想 及び株主還元策

1. 2025年2月期通期業績予想の概要

2024年4月12日開示の通期業績予想 ⇒ 変更なし

売上収益:1,530億円、営業利益:93億円、親会社の所有者に帰属する当期利益:61億円、調整後EBITDA:262億円

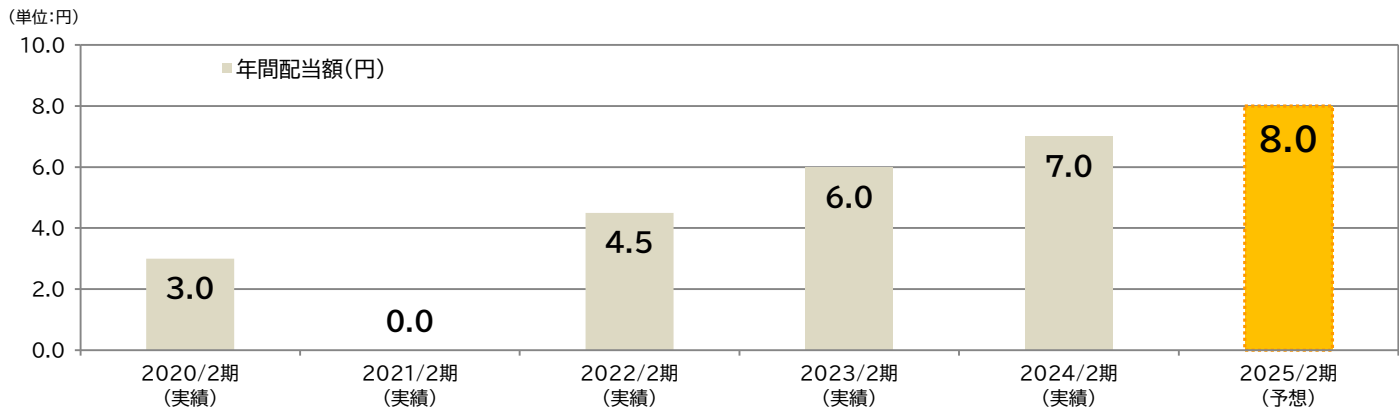
(単位:百万円)	2025年2月期 (第1四半期)		2025年2月期		進捗率 (対予想)
	実績	売上比	予想	売上比	
売上収益	38,286		153,000		25.0%
営業利益	2,753	7.2%	9,300	6.1%	29.6%
税引前利益	2,584	6.8%	8,700	5.7%	29.7%
当期利益	2,046	5.3%	7,000	4.6%	29.2%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,852	4.8%	6,100	4.0%	30.4%
調整後EBITDA※1	7,106	18.6%	26,200	17.1%	27.1%
実質営業利益※2	3,351	8.8%	11,300	7.4%	29.7%

※1:調整後EBITDA=営業利益+その他の営業費用-その他の営業収益(協賛金収入を除く)+減価償却費+非経常的費用項目(株式取得に関するアドバイザー費用等)

※2:実質営業利益は、営業利益から減損損失を除いた数値です

2. 株主還元策

配当 2025年2月期の配当予想⇒中間4.0円、期末4.0円の**年間8.0円**(前期より1.0円増配)を予定



株主優待 企業方針として重要な株主還元策と位置づけ、今後も継続して実施

優待利用可能店舗の拡充

✓JA全農との業務提携(24年1月26日開示)の一環として、4月1日より12店舗が利用可能となったほか、6月1日より5店舗、7月1日よりさらに6店舗にて、株主優待が利用可能に(今後も順次拡大予定)

2024年4月～利用可能

NEW
6月～

NEW
7月～

8月・9月・10月…

みのりカフェ	エスパル仙台店/銀座三越店/ 福岡天神店/長崎駅前店	銀河離宮	盛岡	福島牛焼肉 牛豊	朝日店/八山田店
みのりカフェ季楽	コムボックス佐賀駅前店	肉匠Jade金澤	金沢	若葉亭	名古屋駅前店/ 豊橋駅東口店
みのる食堂	銀座三越店/エキエ広島店/ アミュプラザくまもと店	神戸プレジール	三宮本店	みのるダイニング	京都ポルタ店
みのるダイニング	札幌ステラプレイス店/名古屋店/ さんすて岡山店	みのるダイニング	フェザン盛岡店	長崎和牛焼肉 ぴゅあ	長崎
グリルみのる	エスパル仙台店	カフェ&ダイニング みのりみのる	アミュプラザ おおいた店		



III. Appendix

1. 出退店及び店舗数について

➤ 新規出店6店舗、退店11店舗、業態変更4店舗
⇒2024年5月末グループ総店舗数:1,104店舗

・新規出店(6店舗)の主な内訳

- ・わくわくプロジェクトとして、五反田にニューアメリカンダイニング「GOTTA」をオープン
- ・コアブランドを出店:「しゃぶ菜」くずはモール、「五の五」あべのルシアス店
- ・ゴルフ場内レストランの新規業務受託:1店舗
- ・JA全農とのコラボによる出店:焼肉「若葉亭」2店舗

・主に契約満了に伴う退店(11店舗)

・立地環境や顧客ニーズに合わせ、業態変更を実施(4店舗)

- ・「MACCHA HOUSE 抹茶館」WITH HARAJUKU、「焼肉じゅん」大阪ドームシティ店、「スタミナまんぷく食堂」ネオパーサ浜松、「鉄板ホルモン五の五」ぴおシティ桜木町店

【2025年2月期1Q 出退店一覧】

カテゴリー	2024年 2月末 店舗数	増減数		2024年 5月末 店舗数	業態 変更 ※1
		出店	退店		
CR	502	3	7	498	2
SFP	202	1	2	201	1
専門ブランド	350	2	2	350	1
海外※2	55	0	0	55	0
グループ 総店舗数※3	1,109	6	11	1,104	4

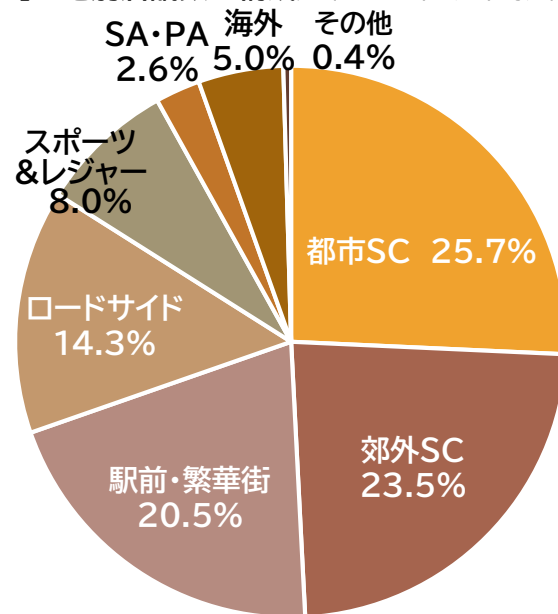
※1:グループ内における業態変更も含めた店舗数を記載しております

※2:海外カテゴリーの店舗数には、LGEW社のジャカルタにおけるFC2店舗及びKR社のタイにおけるFC15店舗を含んでおります

※3:本資料上における期末店舗数は、2024年5月末時点での業務受託店舗、FC店舗を含むグループ総店舗数を記載しております

※4:6/1付のグループ内組織再編を加味して、24年2月末店舗数及び5月末店舗数ともに、LG & EW社を専門ブランドカテゴリーからCRカテゴリーに組み替えた数値を表示しております

【立地別店舗数の構成比(2024年5月末時点)】



2. 既存店前年比の推移

【連結】

	3月	4月	5月	1Q累計	6月	7月	8月	2Q累計	9月	10月	11月	3Q累計	12月	1月	2月	通期計
2025年2月期 既存店前年比	108.8%	104.5%	104.9%	106.1%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2024年2月期 既存店前年比	146.0%	121.1%	115.4%	126.1%	111.5%	118.1%	121.3%	121.4%	114.5%	107.2%	110.3%	117.5%	112.1%	110.7%	109.9%	116.0%

【カテゴリ別】

		3月	4月	5月	1Q累計	6月	7月	8月	2Q累計	9月	10月	11月	3Q累計	12月	1月	2月	通期計
CR	2025年2月期 既存店前年比	110.2%	104.2%	103.7%	106.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024年2月期 既存店前年比	137.4%	125.9%	118.7%	126.8%	116.5%	124.6%	126.3%	124.8%	118.4%	111.2%	114.1%	121.2%	113.6%	112.8%	114.5%	119.1%
SFP	2025年2月期 既存店前年比	107.9%	103.9%	105.3%	105.7%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024年2月期 既存店前年比	276.6%	132.7%	121.7%	154.5%	113.8%	128.4%	136.5%	139.1%	122.2%	109.1%	111.1%	129.6%	116.3%	111.3%	111.3%	125.1%
専門 ブランド	2025年2月期 既存店前年比	107.8%	103.9%	102.5%	104.7%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024年2月期 既存店前年比	122.7%	112.7%	108.8%	114.5%	104.3%	110.0%	115.0%	112.3%	109.4%	103.2%	109.0%	110.5%	111.1%	110.6%	108.4%	110.6%
海外	2025年2月期 既存店前年比	108.7%	108.1%	114.1%	110.9%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024年2月期 既存店前年比	140.9%	117.1%	117.1%	123.3%	114.8%	110.0%	108.8%	116.0%	108.6%	105.2%	103.4%	111.5%	106.5%	104.5%	102.1%	110.8%

※既存店前年比は、前年の2024年2月期の数値を用いて、且つ休業店舗も含めて算出しています

3. 2025年2月期通期業績予想の概要(カテゴリー別)

カテゴリー	2024年2月期 (前期実績)			2025年2月期 (通期予想)			差異		
	売上収益	カテゴリーCF	売上比	売上収益	カテゴリーCF	売上比	売上収益	カテゴリーCF	売上比
CR	50,239	5,563	11.1%	54,500	6,450	11.8%	+4,260	+886	+0.8%
SFP	29,079	2,997	10.3%	30,000	3,090	10.3%	+920	+92	+0.0%
専門ブランド	48,560	4,946	10.2%	50,700	5,460	10.8%	+2,139	+513	+0.6%
海外	19,706	2,409	12.2%	19,900	2,690	13.5%	+193	+280	+1.3%
その他調整等	△1,826	9,667	-	△2,100	8,510	-	△273	△1,157	-
合計	145,759	25,583	17.6%	153,000	26,200	17.1%	+7,240	+616	△0.4%

※6/1付のグループ内組織再編(クリエイト・ダイニング社とLG&EW社の合併:4/12付にて別途開示)を加味して、前期実績及び通期予想ともに、LG&EW社を専門ブランドカテゴリーからCRカテゴリーに期初から組み替えた数値を反映しております

※カテゴリーCF=営業利益(日本基準)+減価償却費+協賛金収入+非経常的費用項目

※その他調整等は、IFRS16号適用に伴う減価償却費のほか、主に各カテゴリーには配分していない本社経費等です

4.サステナビリティへの取り組み①～清掃活動～

北海道のモレ海岸でのゴミ拾い活動

- ・北海道でベーカリーを70店舗展開している連結子会社のレフボン社は、今期の主要施策の一つに、「**パンdeスマイルプロジェクト推進～地域との関係人口創出～**」を掲げています
- ・目標の一つである地域社会への貢献として、今年の5月に海岸のゴミ拾いを実施しました（※店舗を出店しているコープさっぽろ社との共同開催として実現）

⇒コープさっぽろ社のお取引先や近隣住民なども参加して全体で約100人近くが集まり、清掃活動に取り組みました



店舗周辺での清掃活動

- ・北関東で和食レストラン「いっちょう」等を展開しているいっちょう社や、北海道でごまそば「遊鶴」を展開する遊鶴社では、毎月各店舗の周辺の清掃を実施しています
- ・上野公園内にカフェ「EVERYONES CAFÉ」を展開しているクリエイティブ・ダイニング社では、上野公園内の清掃ボランティアに参加したりと、グループの様々な場所で清掃活動に取り組んでいます



(いっちょう店舗周辺)



(上野公園内)

4.サステナビリティへの取り組み②～ココロのバリアフリー～

「NPO法人ココロのバリアフリー計画」の池田君江氏による講演

✓「車いす・ベビーカーの方が安心して出かけられる社会の実現に向けて」という講演を社内にて実施しました

- ・不慮の事故により、ある日突然車いす生活を余儀なくされた池田氏。事故後引きこもりがちだったものの、アメリカで多くの車いすの方が街に出て楽しんでいる様子に衝撃を受けたとのこと
- ・段差があっても優しさや“ココロ”があれば、どんな場所も行きやすい“バリアフリー”になる
→実体験を通してのお話で、バリアフリーとは何かを考えさせられる講演内容でした



講師の池田君江氏

check

- ・段差や階段、トイレ入口幅等が事前に把握できれば、対処法を考えられるので来店ハードルが大きく下がるということ
- ・「NPO法人ココロのバリアフリー計画」では、「ココロのバリアフリー応援店」として飲食店を中心に、全国約3,000店のバリアフリー情報を掲載したサイトを運営しており、掲載店舗は店頭でステッカーを掲示しています
- ・店舗で働く従業員へのメッセージとして、何ができるかを考え「どう手伝うといいですか？」と声をかけるなど、車いすの方を迎える優しい気持ちを持っていただければとのことでした

ココロのバリアフリー応援店への加盟について

- ・講演後、当社のグループ店舗も順次、ココロのバリアフリー応援店への加盟を進めています
- ・舞浜にある「レインフォレストカフェ」や六本木にあるしゃぶしゃぶ・すし「八山」、小籠包専門店「南翔饅頭店」など、検索サイトへの情報掲載と店頭でのステッカー掲示を開始しました
- 店舗で働く従業員にとっても、多様なお客様に対して優しい気持ちを持つきっかけとなり、ホスピタリティの向上にも繋がっています



ご注意

本資料は、2025年2月期第1四半期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません

また、本資料に記載した内容は、資料作成時点において当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、その情報の正確性、完全性を保障または約束するものではなく、予告なしに変更される可能性があります

《IRに関するお問い合わせ先》

IR部

8022@createrestaurants.com